

堀 大幹 (HORI Taisuke)

年生まれ。専門は、表象論。

西欧における政治権力の表象の研究。西欧近代における宗教からの離脱の過程を再検討し、社会が宗教的構造化から引き離され、その形象化が困難になったとき、権力がどのように社会を表象＝代表していったかを分析する。

現在は、

主要業績

■論文

- ・ 2004, 「形象とネーションの全体性」『文化』 67(3・4):323-308.
- ・ 2003, 「受肉の形象化と王の二つの身体ーコミュニオンと近代国家の時空的編成」『ソシオロジ』 47(3):87-101.

リンク

研究カテゴリ
